


日進通商株式会社

りんご 

中国のリンゴ果汁の生産は例年より遅くなり 9 月から開始され、コロナ禍の影響で果汁の加工量は大幅に減少（約 3 割）、生果市場の需要が増大、またヨーロッパでも生果の需要が伸びており、2 級品のリンゴ（果汁用原料）でも今シーズンは生果市場に出荷されており、より長期にわたり還元率の高いフレッシュへの販売が続く、一方で果汁の加工業者は生産量を制限せざるおえない状況。

(1) 中国

2020/21 新クローブは春先の霜害と長雨の影響で、収穫量は昨年と比較し減少。予想としては昨年比 約 5%減の 4 千万トンレベル。

濃縮リンゴ果汁生産量： 56 万トン（2019 年） 44 万トン予想に修正（2020 年）

中国のリンゴ加工は終了時期に来ており、酸度も低くなってきております。この生産量を受け原料価格は最安値時期からかなり上昇しているものの、11 月の低酸度帯の FOB 価格は US\$1,050~1,100/トンを維持して。ヨーロッパ市場はいまだに静かな動きで、2021 年向けの主契約はまだされていない状況。

(2) ヨーロッパ 収穫量 1,070 万トン（最大産地ポーランド 340 万トン、前年 17%増）

ポーランド： 果汁のりんご収穫量は終了、加工はまだ継続中であり酸度帯は 2.5-3.0%の市場価格は EUR1,200 – 1,300/トンで推移。AJC 輸出量は昨年の 40 万トンから大きく減少し、24 万トン弱と予想。一方 NFC リンゴ果汁の需要が伸びており、利幅も多い。

トルコ： ポーランドのリンゴ果汁が高いため、トルコは価格優位で米国、ヨーロッパ諸国への輸出が好調。

ウクライナ： 果汁供給が限られており、結果として市場は静かな模様。

(3) 南アフリカ

2021 年 1 月からリンゴの植樹を 4%増やし（26,000 ヘクタール）、過去数年前から西ケープ地区で干ばつの被害があったものの、リンゴ園は依然のレベルまで戻る。パンデミックにより次年度の生産量は最小限に抑えられる予定です。反面フレッシュフルーツの消費は増加している。果汁の大きな市場はサイダー業界であり、ビールの代わりにサイダーが人気。

柑橘オレンジ・グレープフルーツ

(1) フロリダ オレンジ

2020/21年のUSDAによる作柄予想のオレンジ収穫量は57百万箱(対前年比15%減)、EM種23百万箱、バレンシア種34百万箱。例年に比較し全体的に気温が高く、雨量が少なく5月の干ばつが影響。今シーズンはハリケーン被害もなく、クリスマス時期の寒波の影響もなく、落ち着いている。しかしながら、12月にはフルーツ落下により、百万箱減少すると予想。

FCOJ先物相場は11月は1.10~1.15/lb solidが、1.24/lb solidまで上昇している。

グレープフルーツ: フルーツ

2020/21年のUSDAの作柄予想では対前年比7.2%減の450万箱、しかしながら日本市場に人気のホワイトGFは70万箱(11.4%減)、Colored GFは380万箱(6.4%減)と減少している。

フロリダ産濃縮ホワイトGFJCは過去4カ月変わらず、US\$4.25/lb solid、赤GFJCも変化なくUS\$1.80/lb solidと安価です。GF果汁の動きは鈍く26%減少していて、在庫が5%上昇しています。

テキサス: 2020/21年の収穫予想は当初の440万箱から490万箱に上昇している。シーズン当初はパッキングハウスからフレッシュ市場に高い需要があり、果汁加工はスロースタートとなった。11月中旬頃から果汁生産がフル稼働に移行。濃縮GFJのオファー価格FOBテキサス価格はUS\$1.70/lb solid、NFC果汁はUS\$2.20/lb solid。需要は堅調で、在庫レベルも十分な状況。

(2) ブラジル オレンジ

新クロープ2020/21はシトラスベルトの主要産地が長い間干ばつの影響により、開花後並びに着果後の高温と降雨不足の影響で、大幅に減産となり、前年度の大豊作から一転し100万箱減産の288百万箱(26%減)、加工仕向量は350万トン減の1,070万トン(濃縮換算では約102万トン)。

2021/22の新クロープは、12月に入り雨量に恵まれたものの、それまでの干ばつの影響で収穫時期は遅れ複数開花があり、収穫量はそれほど期待できず、300百万箱に届くかどうか。

(3) メキシコ オレンジ

2020/21クロープ予想は、主要産地では60-63百万箱。バレンシア種は順調ですが、生産量は平均レベルで、フルーツの糖酸比は9~10.0とまだ低い。アーリーミッドシーズンの収穫量は少なくなかったものの、バレンシア種は昨年よりも作柄は良い。

(4) 南アフリカ フルーツ

2020年度の搾汁シーズンは3月~9月、収穫量は36万トンです。南アフリカ国内ではGFはあまり人気がなく、むしろ輸出が伸びていて加工には29%の需要があり(約10万トン)の果汁とエッセンスが製造され、それらのほとんどがヨーロッパ各国に輸出されている。

ブドウ

米国における 2020/21 年のブドウ収穫量(テーブルグレイプ、ワイン用、レーズン、果汁用)は 4%増で 646 万トン、カリフォルニア州は 10%増、ワシントン州は 4%増加。
しかしながら果汁用のコンコードグレイプは天候不順により減少。

(1) 米 国

2020/21 年の WELCH コンコードグレイプの収穫量は対前年比 16%減少の 21 万 1 千トン、(西地区ワシントン州は 19%減、東部は 21%減、中部 11%増)と著しく収穫量が減少しており、平均収穫量の 24 万トンからも大幅減であり、価格はここ数年での一番の高値となる。

この主要因は天候不順による減少(西地区での秋に霜害と東地区での春先による霜害の影響で(木がやられた)と作付面積の減少、収益性の高いホップやワイン用グレイプなどへの転作、(契約農家が 1000 戸から現在は 800 戸にまで減)が原因です。

(2) ブラジル

2020 年は降雨量が少なく、干ばつの影響で収穫量が 2 割~3 割減少し、価格も上昇しており、テクノビンの販売価格も昨年よりも 10%上昇するも供給は充分との事。

(3) アルゼンチン

2020 年は 1 月の豪雨と霜、あられの影響で収穫量は対前年比 3 割減少、繰越在庫も少なく価格は上昇傾向。10 月に主要産地であるメンドーサ地区に寒波が有り、2021 年の収穫に被害が少なからず出る可能性があるものの、もう少し様子を見る必要がある。ホワイト GJ68bx の価格は FOB ブエノスアイレス港渡し US\$1,200- 1,300/トン。赤 GJC は US\$1,800/トンで変わらず。アルゼンチンの輸出量は 112,000 トン(1 月~10 月)でほぼ昨年並みです。UAE、サウジアラビアが主要輸出国です。

ロジスティックに関し、港の込み具合があるものの、工場から港までのトラック輸送は特に問題はない。

(4) チリ

2020 年は干ばつとアンデス山脈の降雪量不足の水不足の影響で収穫量は減少(2019 年度は豊作) ホワイトグレイプ収穫量は 10%減少しており、濃縮果汁の生産も減少する。

相場としては、少し早いものの FOB 価格 US\$1,570/ton (US\$9.85/ガロン)

(5) スペイン

2020/21 年は白、赤グレイプ共に 2 月からの冬の降雨量が多く収穫は順調に回復傾向。

最大産地の Castille-La Mancha(マドリッドの南部自治州)では、前年比約 30%増収穫が見込まれており、特にホワイトグレイプの生産が 70%と高く、マストの輸出が好調。

相場は濃縮グレイプ果汁 65bx で EUR900-950/ton、Ex-Factory で昨年とほぼ同じ。

レモン 🍋

アルゼンチン

2021年収穫量としては、今年の6月以降は雨量不足と高温から回復をみせてはいますが、恐らく2020年よりも10~25%は減少すると予想しております。ローカル生産者は2021年のレモン生産量は100万トンを下回ると予想しており、これは2014年依頼最低の水準です。2020年のレモン生産量は約110万トンを少し下回り、2019年よりも20%減少しました。10月、11月と需要は少なく、多くのバイヤーは北半球のヨーロッパ、アメリカを期待している。

アルゼンチンの透明レモン果汁 400GPL のスポット価格は FOB ブエノスアイレス価格で US\$1,800 ~ 2,000/トン。

スペイン：今年は良いシーズンで、Ex-Factory 価格の透明果汁400GPL は EUR2,200/トンで先月より少し安価で推移している。

ブラジル 🍋

2020年度の生産はすでに終了している。CJ社としての次期生産は2021年3月予定。

パインアップル 🍍

2020年度のタイ国のパイナップル原料の総供給量：

1月~7月(過去最低記録) 約46万トン~49万トン

12月までの予測としては 約100万トン強

タイの冬実の収穫と生産量は予想よりも回復に向かっております。原料は11月初めの THB11.0 ~14.0/kg でスタートしたものの、現在は THB9.5 10.0/kg まで下がっており、これは加工メーカーにとっては朗報である。加工業者にとっての原料価格は THB6.0~7.0/kg でしょう。

現在の市場価格は FOB バンコクで US\$2,000~2,300/トンと先月から約25%安価になります。昨年度は年間200万トンを生産。

インドネシア 🍍

長期の干ばつにより前年よりも収穫は減少している。供給量は200万トン以下で推移。

タイの不作を受けて、欧米向け輸出が好調。

コスタリカ 🍍

干ばつの影響により収穫は減少、糖酸比も低く、価格は上昇傾向、60bx濃縮パイン果汁の価格は CFR ヨーロッパ US\$2,300~2,500/トン、NFC パイン果汁は US\$800/トン。

ブラジル 🍍

11月初旬のヨーロッパ向けオファー価格は60bxで US\$2,100/トン

キウイ

ゼスプリの報告によると中国の四川省と Sun Gold variety の試験生産を始める契約に合意し、2021年から3か年の試験生産で、5年以内には5万トンの生産量を見込み、北半球の拠点になる予定。

現在ゼスプリは世界50か国にゴールド、グリーン、オーガニックフルーツキューイを輸出しており、オーストラリアよりも多くの国々に輸出。

2020年10月までにゴールドは368,000トンを出荷し、グリーンは279,000トンを出荷しております。そのうち、中国にはゴールドを93,000トン(18%増)、グリーン23,500トン(18%減)を輸出しております。

イタリア：今年ゴールドを8万トン生産(昨年比35%増)、グリーンは4%減少している。

マンゴ

インドのアルフォンソマンゴの生産地域は雨の影響で2021年の開花は遅れると予想。2020年のピューレの在庫は完売しており、現在製品があれば、CFR EUR1,900~2,000/トンでも購入したいとのこと。因みに先月のFOB価格はEUR1,450~1,750/トン。

ヨーロッパでは需要が強く、アルフォンソの供給が難しい為、Keser ケサーマンゴピューレを買い付けしている。CFRヨーロッパ価格ではUS\$1,400/トンです。

プルーン

カリフォルニアはCovid-19、夏場の山火事にも関わらずプルーン果実は今年の販売が好調で、2021年度も成長するとみている。これはより多くの人々がナチュラルなものを好み、栄養価が高いプルーンは人気が出てきている。